

第76回 IRIDeS 金曜フォーラム

日時：令和4年2月18日（金）16時30分～18時05分

会場：オンライン開催（zoom、URLはお申し込みいただいた方に配信します）

テーマ：「シリーズ：災害メモリアル」

今回は定期的に行っている「シリーズ：災害メモリアル」の一環として、所内研究者による国内外における過去の災害に関する調査研究や被災地での活動報告などを行います。

16:30-16:35 開会・趣旨説明

Web開催上の留意点についてご説明した後に、開催趣旨について簡単に紹介します。

16:35-16:55 「北海道胆振東部地震後の厚真町における被災者支援」※1

話題提供者：定池祐季（イオン防災環境都市創生共同研究部門・（兼）防災実践推進部門 防災教育実践学分野）

北海道胆振東部地震（2018年）では、厚真町で北海道初の震度7を観測し、全道的な大規模停電が発生した。厚真町・安平町・むかわ町などで深刻な被害が生じ、人的被害は死者44名（うち災害関連死3名）にのぼった。

報告者は2012年から防災教育に通ってきた厚真町が被災したため、発災3日目から現地支援に入り、現在も現場の声を聴きながら関わり続けている。今回は、避難所期から現在に至る被災者支援体制の変化を中心に報告をする。

16:55-17:25 「2017年ハリケーン・ハービー後のヒューストン市における復興の現状」※2

話題提供者：マリ・エリザベス（防災実践推進部門 国際研究推進オフィス）

2017年8月、米国で観測史上最大の暴風雨となったハリケーン・ハービー。4日間で1000mmを超える雨が降り、テキサス州ヒューストン市とその周辺では大規模な洪水が発生した。

米国連邦政府の復興プロセスに基づき、住宅復興プロジェクトでは住宅所有者のための修理や再建、一部の住宅の買い取り、そして賃貸住宅の建設が行われた。また、非営利団体や非政府資金も住宅復旧、特に修繕や災害ケースマネジメントを支援した。

ハリケーン・ハービーから5年、住宅再建プログラムは未だ完了しておらず、現在も進行中である。その間、被災者は他のハリケーン、冬の嵐と停電、Covid19の大流行など、他の困難にも直面している。

17:25-17:55 「令和元年東日本台風のふりかえり」※2

話題提供者：森口周二（災害評価・低減研究部門 計算安全工学研究分野）

令和元年東日本台風（2019年台風19号）は、中部・北陸・関東・東北などの地方で記録的な大雨をもたらし、多くの河川氾濫や土砂災害の被害が発生し激甚災害にも指定された。東北地方では、岩手・宮城・福島の3県で大きな被害が発生した。当時の被害や災害対応をふりかえるとともに、この台風を対象とした河川氾濫と土砂災害の再現シミュレーションについて報告する。

17:55-18:00 閉会・事務連絡

司会・進行：マス・エリック（災害評価・低減研究部門 災害ジオインフォマティクス研究分野）

※1 発表時間15分、質疑応答時間5分

※2 発表時間20分、質疑応答時間10分